

ECO PRE エコプレ 施工説明書

○階段ご注文前の注意事項

階段には建築基準法や、条例などのさまざまな規制があります。
ご注文前に必ず確認していただき、規制を守った施工をしてください。

○施工前の確認

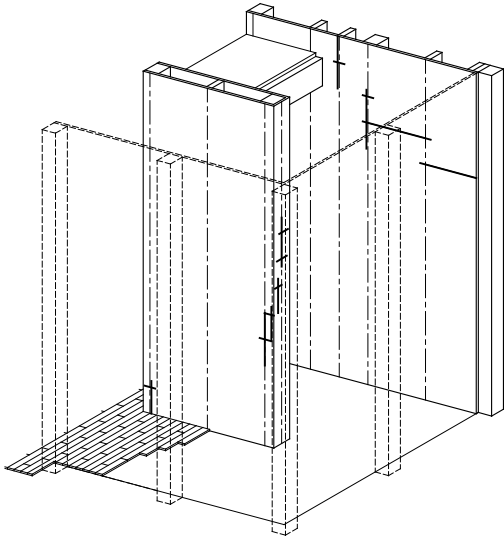
- 1) 納品時には部材に損傷が無いか必ずご確認ください。
取付け後の損傷クレームについては責任を負いかねますので、商品に不都合な点がありましたら、必ず施工前に販売店にご連絡ください。
- 2) 仮並べを行ってください。
当社エコプレ階段は現場での加工を省略し、短時間での階段施工が出来るようにカットされています(一部を除く)。仮並べを行い位置関係及び、寸法を確認してから施工してください。
- 3) 部材の保管は、湿気や直射日光の当たる場所を避け床面が水平な場所に保管してください。
反りやネジレの原因になります。
- 4) 塗装済み部材をシンナーなどで拭かない様にしてください。
色ムラが出来る原因になります。
- 5) 安全な作業環境を整え、危険の無い施工を行ってください。
- 6) 受け材/側板の1段目下端は、フロア先貼りを想定してフロア上面でカットされています。
現場カットしての調整はできません。

○側板納まりの施工説明 → P.01～P.03

○巾木納まりの施工説明 → P.04～P.08

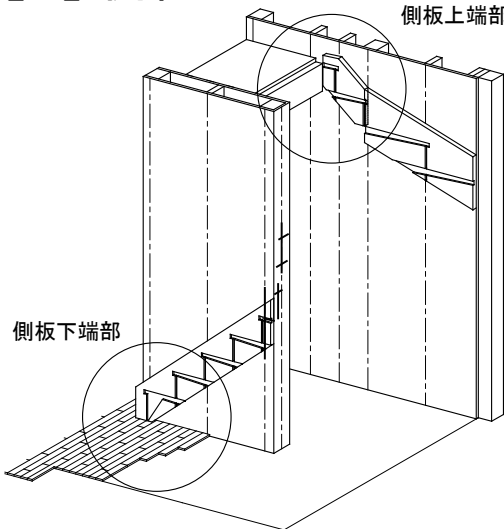
[側板納まり] 施工手順例

【1】床仕上げ、墨出し

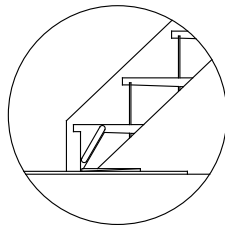


- ①側板を受ける部分の床は階段施工前に仕上げてください。
※上階の床は上段框取付け後に貼ってください。
- ②石膏ボードを貼り、その上に柱芯(間柱芯)を墨出ししてください。
- ③側板接続部分付近の各段の踏板天端の高さを墨出ししてください。
(段数×蹴上げ寸法)
- ④側板の接続位置を墨出ししてください
(内廻り部分は柱欠き込み位置)

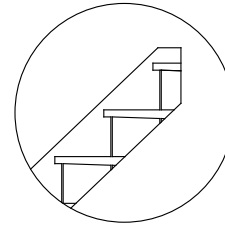
【2】側板の取付け



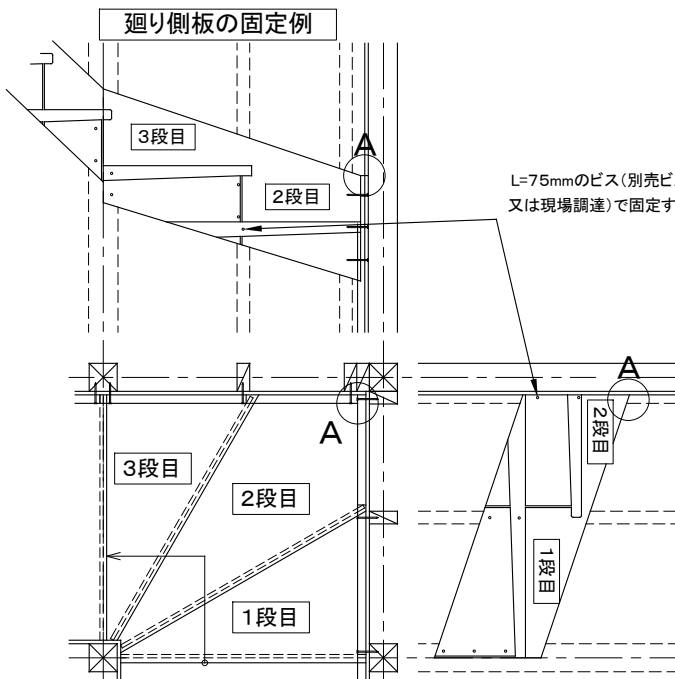
- ①【1】で出した墨を基準に側板を取付けてください(左図参照)。
その際、加工された側板と墨が合わない場合は現場にて調整を行ってください。
- ②内廻り部分の柱に廻り踏板を受けるための差込み加工を行ってください。
※側板を現場調整すると踏板が合わなくなる場合がありますので
ご注意ください。
※蹴込板の前面が柱芯の位置になるように位置を確認してください。



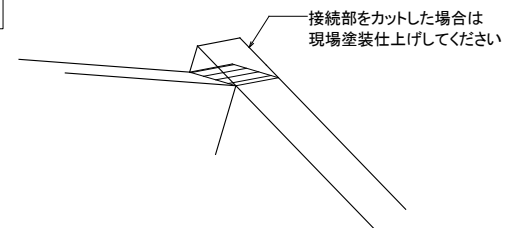
側板下端は
フロア上面で
カットされています。



側板上端は
指定寸法で
カットされています。

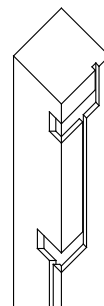


A部詳細

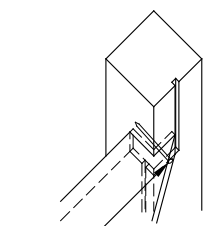


※廻り側板の取付は下側板勝ちになります。

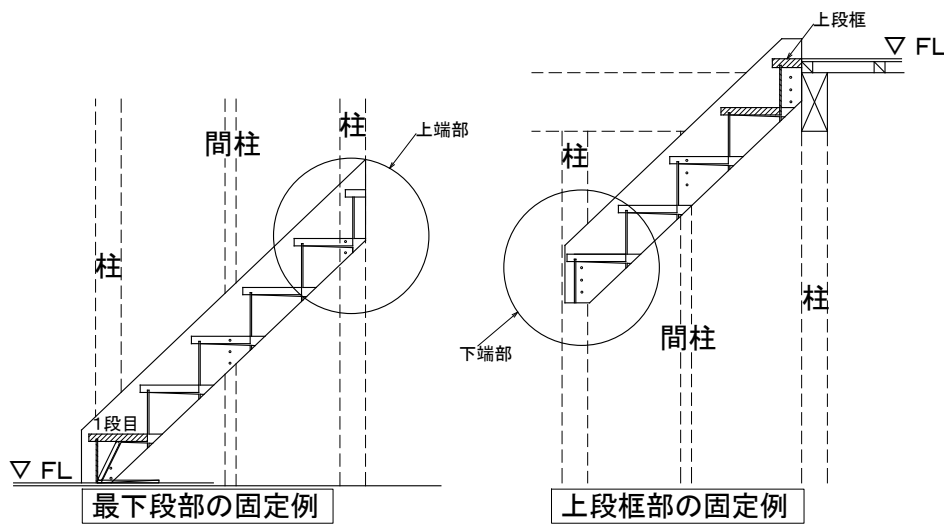
廻り踏板受け柱差込み加工例



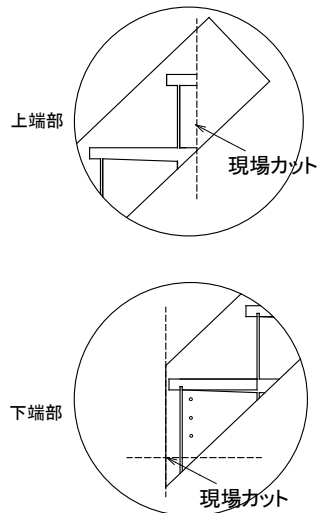
廻り受け柱ビス固定例



L=75mmのビス
(別売ビスセット又は現場調達)で固定する。



側板の内側上下端部は、現場カットで対応お願いします。



注意:側板の取付けはガタつきの無い様に強固に固定してください。

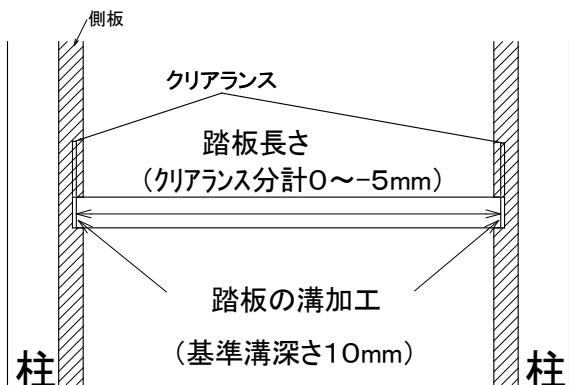
※固定にはL=75mmのビス(別売ビスセット又は現場調達)をご使用ください。

注意:ビスを打つ際は、必ず下穴をあけてから行ってください。

注意:1段目下の側板下端はフロア上面でカットされています。

現場でのカット調整はできません。

【3】 踏板・蹴込板の取り付け前に



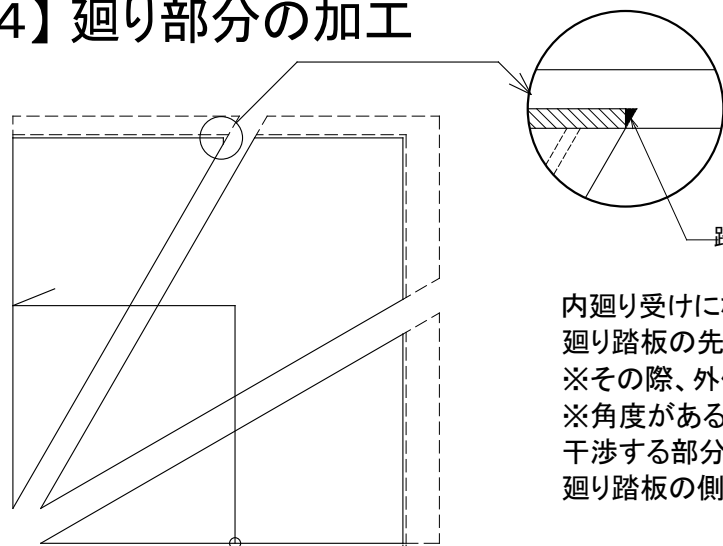
- ①側板を反った状態で取付けていないか、設計上の有効巾と相違無いか、踏板(蹴込板)の長さは適切か等、ご確認ください。
※上記で問題があった場合、側板裏にスペーサー挟む、踏板をカットする等の調整を行なってください。
- ②側板の固定、内廻り部分の柱加工が確実にされているかご確認ください。

※踏板外寸のクリアランス設定

廻り部分 = "外廻り側" に0mm~-5mm(ご注文時に取り決め)

直部分 = 0mm~-5mm(ご注文時に取り決め)

【4】 廻り部分の加工



内廻り受けになる柱への差し込み寸法に合わせて、廻り踏板の先端部を現場カットしてください。

※その際、外側に取付けた側板との位置関係を確認してください。

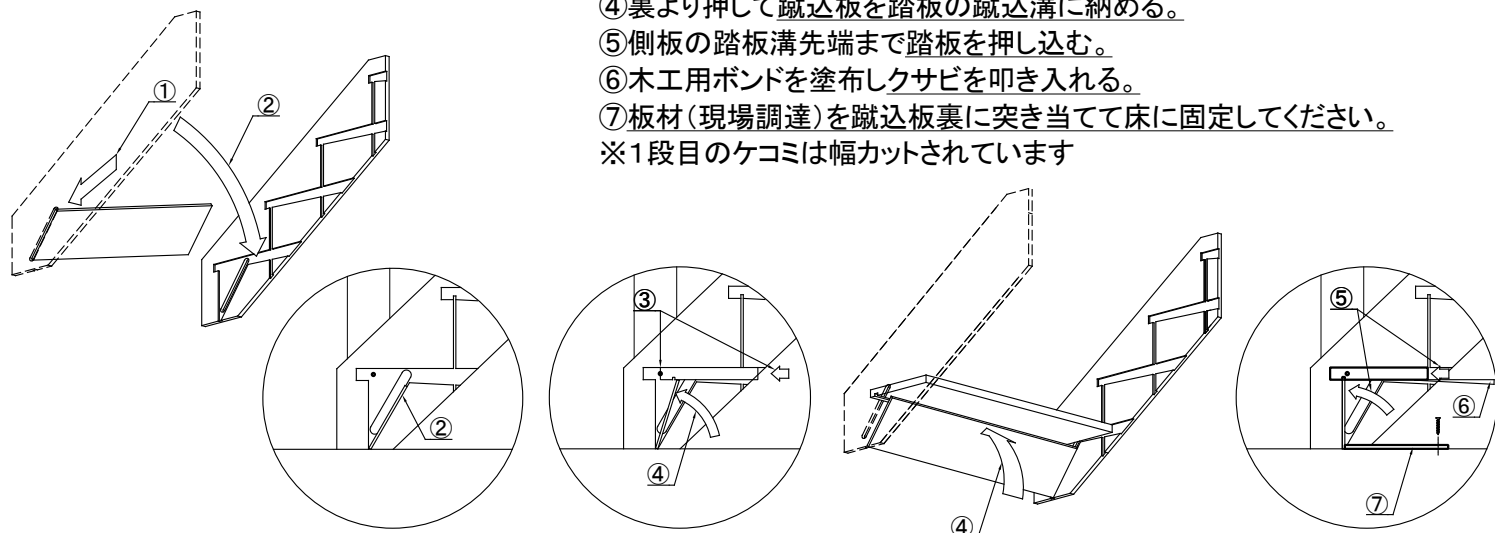
※角度がある踏板の場合は、踏板の段鼻部分と側板の溝部分が干渉する部分があります。

廻り踏板の側板に干渉する部分はカットされています。

3段廻り踏板のカット例

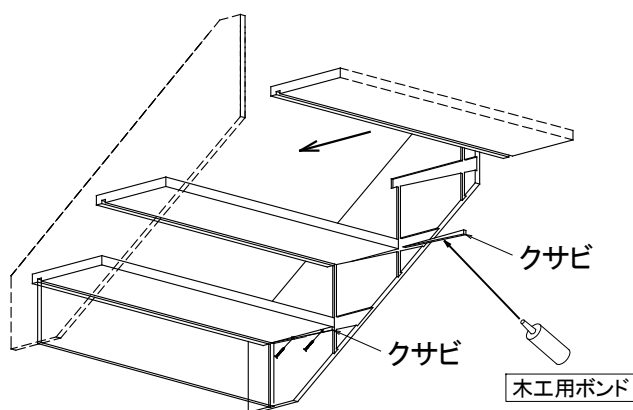
廻り踏板の外廻り側がクリアランス分小さくカットされます。(0~-5mm)

【5】1段目の取り付け



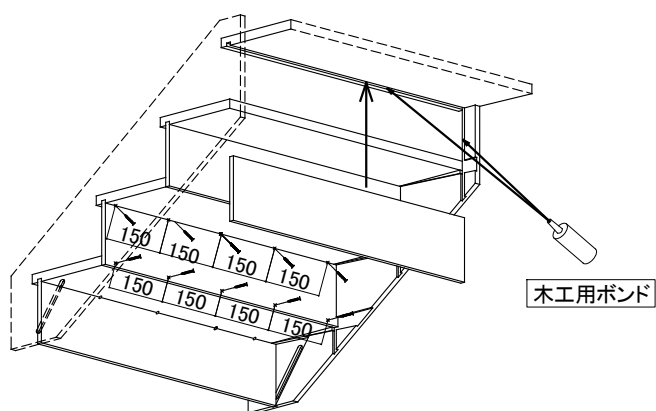
- ①固定した側板の長穴掘り込み部へ蹴込板を斜めに差し込む。
- ②側板の斜め掘り込み部に沿わせて蹴込板を設置する。
- ③踏板先端が目印の○中心に合う位置まで踏板を差し込む。
- ④裏より押して蹴込板を踏板の蹴込溝に納める。
- ⑤側板の踏板溝先端まで踏板を押し込む。
- ⑥木工用ボンドを塗布しクサビを叩き入れる。
- ⑦板材(現場調達)を蹴込板裏に突き当てて床に固定してください。
※1段目のケコミは幅カットされています

【6】踏板の取り付け



- ①固定した側板の後方から踏板を上図のように差し込んでください。その際、踏板の先端と溝の間に隙間が出来ないようにご注意ください。※金槌等で叩いて差し込む場合は、当て木などをし、キズが付かないようにご注意ください。
- ②クサビに木工用ボンドを塗布し、後方より差し込み金槌で叩き込んでください(後方にはみ出したクサビはカットしてください)。
- ③左図のように、クサビから斜め上方に向かいビスを打ち、クサビと踏板を固定してください。
※固定にはL=25mmのビス(別売ビスセット又は現場調達)をご使用ください。

【7】蹴込板の取り付け



- ①側板と踏板の蹴込溝に木工用ボンドを塗布し、蹴込板を左図のように上方に向かい差し込んでください。その際、踏板との間に隙間が出来ないようにご注意ください。(踏鳴りの原因となる場合があります)※金槌等で叩いて差し込む場合は、当て木などをし、キズが付かないようご注意ください。
- ②左図のように蹴込裏面より斜め上方に向かいビスを打ち、踏板と固定してください。
※固定にはL=25mmのビス(別売ビスセット又は現場調達)を150mm間隔でご使用ください。
- ③左図のように蹴込裏面より踏板に向かい水平にビスを打ち、踏板と固定してください。
※固定にはL=25mmのビス(別売ビスセット又は現場調達)を150mm間隔でご使用ください。
※ビスが蹴込板前方より出ない様、ご注意ください。

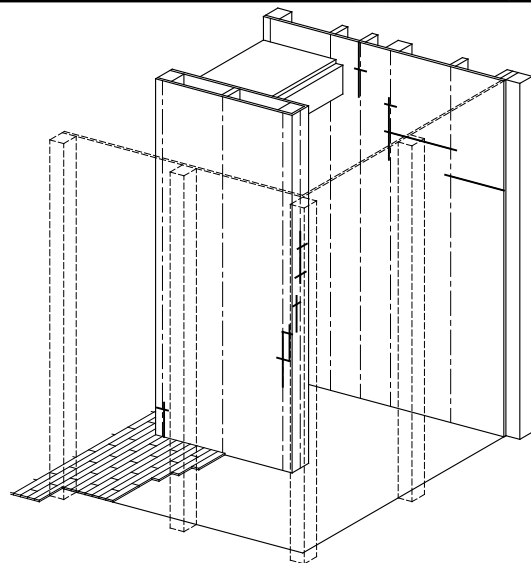
★階段取り付けの最後に

- ①階段取り付けの最後に、階段が正しく設置されているか、軋みや揺れが無いかご確認ください。また、キズや塗装の欠けが無いか確認し、必要に応じて補修を行ってください。
- ②階段施工後はゴミや埃などを取り除き、化粧面の養生を行ってください。
※その際、養生テープは市販の養生テープをお使い下さい(塗装の剥れやキズの原因となります)。
注意:木質商品は基本的に水気を嫌います。水や洗剤でぬれたままにしておくとシミ、変色、カビの原因となる事がありますのでご注意ください。

[フラット巾木納まり・L型巾木納まり] 施工手順例

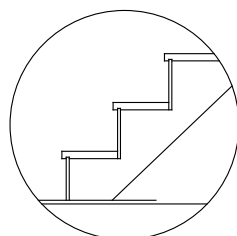
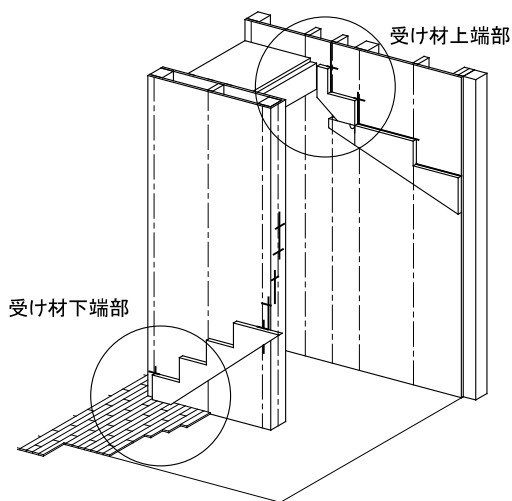
【1】床仕上げ、墨出し

- ①受け材を受ける部分の床は階段施工前に仕上げてください。
※上階の床は上段框取付け後に貼ってください。
- ②石膏ボードを貼り、その上に柱芯(間柱芯)を墨出ししてください。
- ③受け材接続部分付近の各段の踏板天端の高さを墨出ししてください
(段数×蹴上げ寸法)。
- ④受け材の接続位置を墨出ししてください
(内廻り部分は内廻り受け材位置もしくは、柱欠き込み位置)。

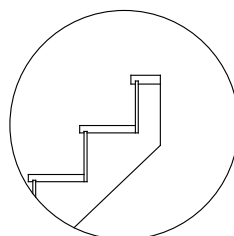


【2】受け材の取付け

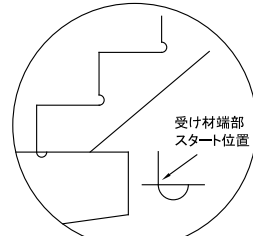
- ①【1】で出した墨を基準に受け材を取付けて下さい(左図参照)。
その際、加工された受け材と墨が合わない場合は現場にて調整を行ってください。
- ②内廻り部分の柱に廻り踏板を受ける場合は差込み加工を行ってください。
※受け材を現場調整すると踏板が合わなくなる場合がありますので
ご注意ください。
※蹴込板の前面が柱芯の位置になるように位置を確認してください。



受け材下端は
フロア上面でカットされています。

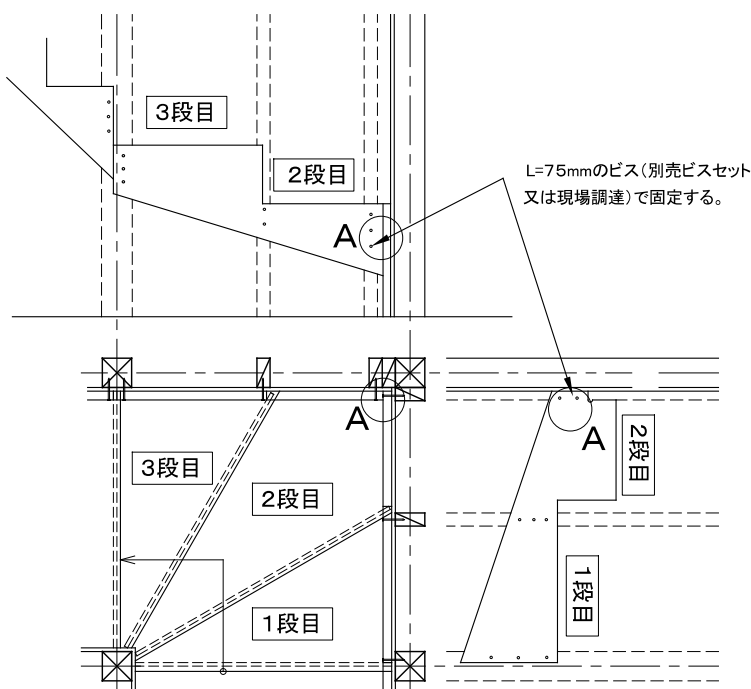


受け材上端は
上框後端でカットされています。

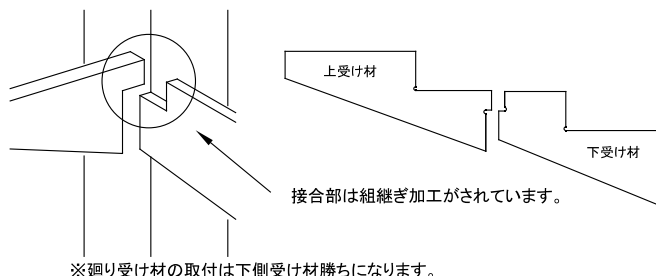


接続点となる部分には
接続マークが入っています。

廻り受け材の固定例

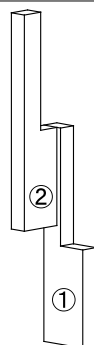


A部詳細



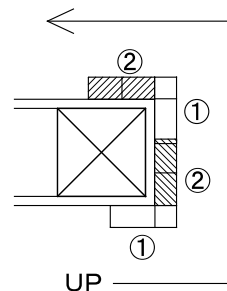
※廻り受け材の取付は下側受け材勝ちになります。

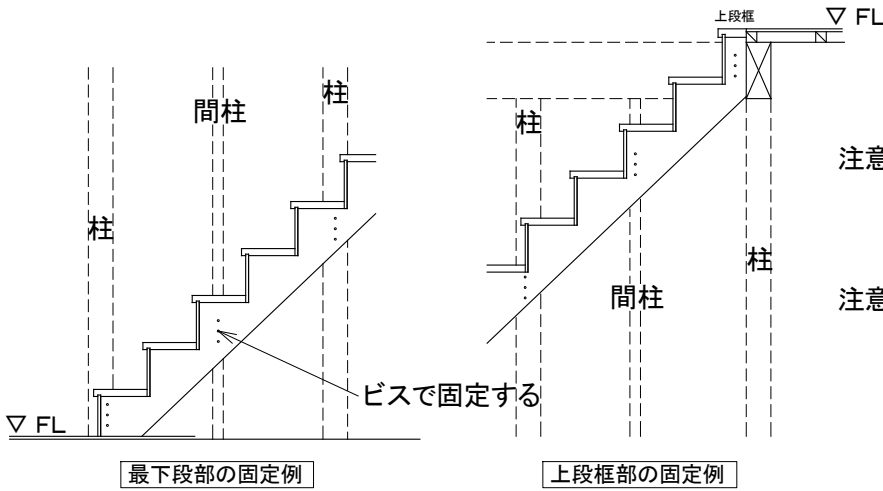
3段内廻り受け材姿図



3段内廻り受け材配置

※下図は6段左廻りの場合



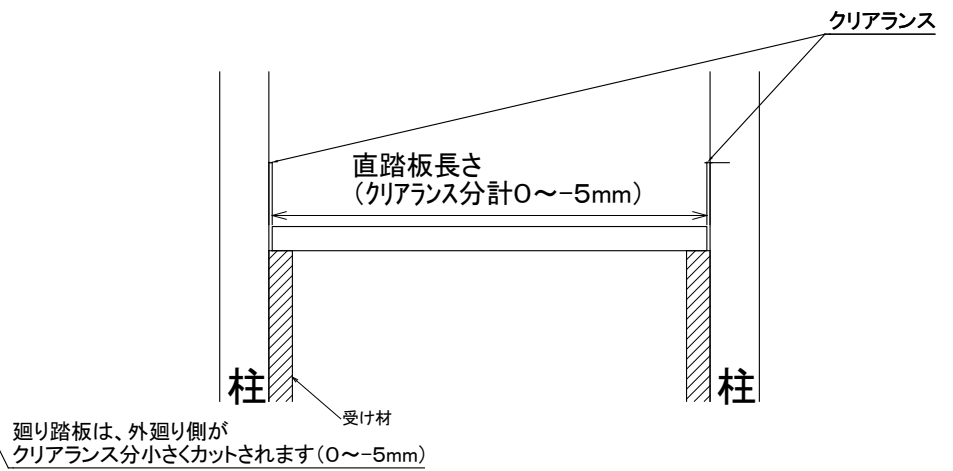
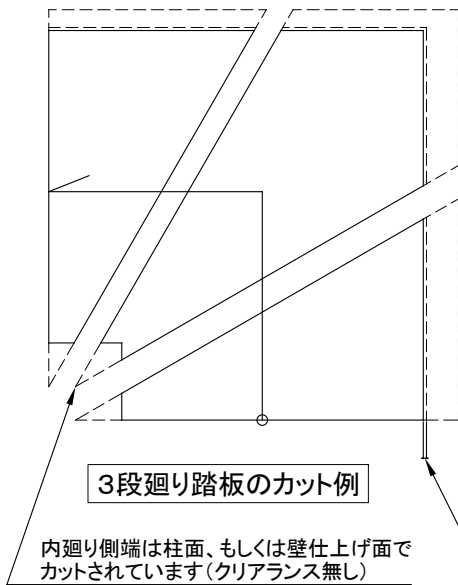


注意: 受け材の取付けはガタつきの無い様に強固に固定してください。
 ※固定にはL=75mmのビス(別売ビスセット又は現場調達)をご使用ください。
 注意: ビスを打つ際は、必ず下穴をあけてから行ってください。

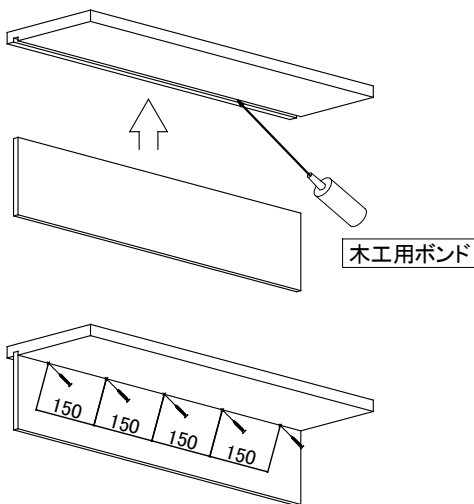
【3】 踏板の加工

廻り踏板外周のクリアランス設定

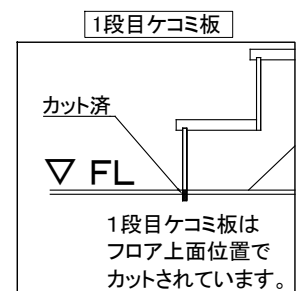
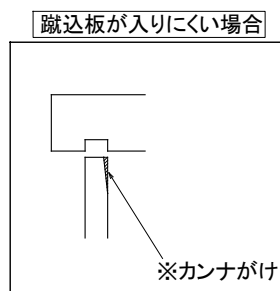
廻り部分 = "外廻り側"に0mm ~ -5mm (ご注文時に取り決め)
 直部分 = 0mm ~ -5mm (ご注文時に取り決め)
 廻り踏板の内廻り側は、柱面又は壁仕上げ面でカットされています。
 ※その際、外側に取り付けした側板との位置関係を確認してください。



【4】 踏板への蹴込板の取付け



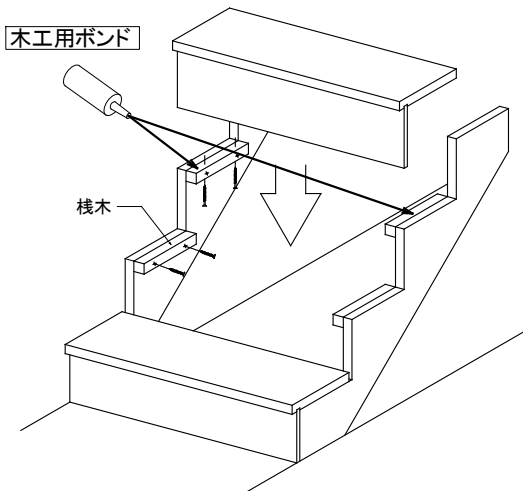
- ① 踏板の蹴込溝に木工用ボンド(現場調達)を塗布し、蹴込板を差し込んでください。奥まで差し込まないと踏み鳴りの原因になります。
 ※蹴込板が入りにくい場合は蹴込板の差込側にカンナをかけてください。
 ※1段目の蹴込板はフロア上面でカットしてあります。
- ② 蹴込板の裏面から踏板へ、ビスを斜め上方に打ち込み固定してください。
 ※150mmピッチ間隔で、ビスL=25mm(別売ビスセット又は現場調達)を使用してください。
 ※ビスが蹴込板前方より出ない様、ご注意ください。



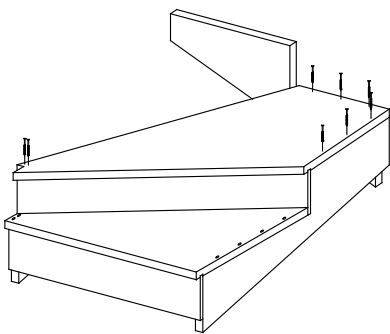
L型巾木納まりの場合

表側よりビス固定して、ビス頭を隠すことが出来ない場合。

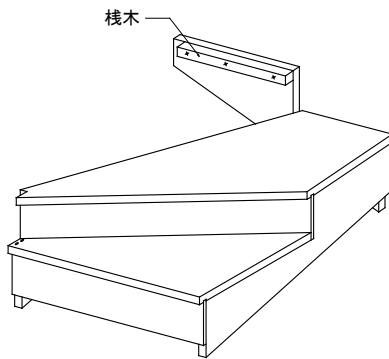
- ① 受け材に踏板を取付ける棧木(現場手配)をビスと木工用ボンドで取付けてください。
- ② 受け材の天端に木工用ボンドを塗布した後、【3】で組んだ踏板と蹴込板を乗せ、裏面よりビス固定してください。
 ※100mmピッチ以下の間隔でビスL=65mm(別売ビスセット又は現場調達)を使用してください。
 ※固定しようとする段の上の段を仮置きすると、隙間が出来にくく、施工し易くなります。
 ※ビスを打つ際は、必ず下穴をあけてから行ってください。
 ※裏面よりビス打ちする際は、ビスの先端が化粧面から飛び出さないようにご注意ください。
 ※オプションで受け金具を選択することもできます。



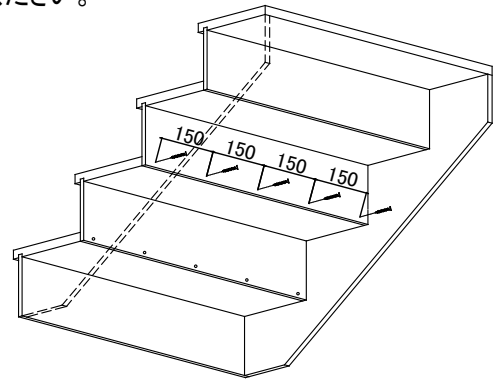
廻り踏板の固定例A



廻り踏板の固定例B



- ③ 蹴込板の裏側から踏板へビスを打ち固定します。
 ※150mmピッチ間隔でビスL=25mm(別売ビスセット又は現場調達)を使用してください。

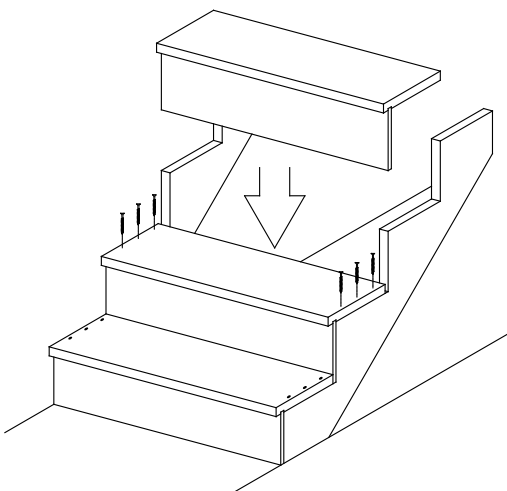


- ※廻り踏板内廻り側の柱欠き込みは柱型に合わせて現場にて行なってください(内廻りカット無しの場合)。
- ※廻り踏板のクリアランスは外廻り側に設けられています。内側に寄せて取付けてください。

フラット巾木納まりの場合

※表側よりビス固定してもビス頭を隠すことが出来る場合。

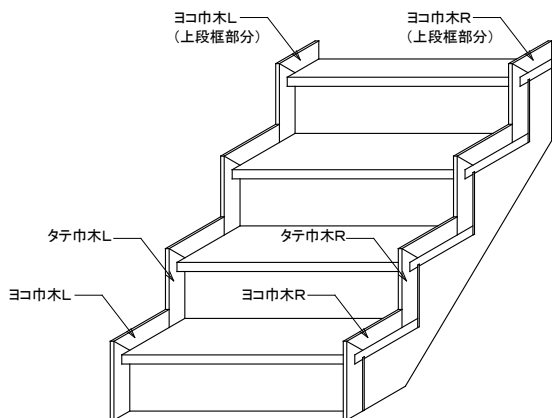
- ①【3】で組んだ踏板と蹴込板を受け材に乗せ固定してください。
 ※100mmピッチ以下の間隔でビスL=65mm(別売ビスセット又は現場調達)を使用してください。
 ※固定しようとする段の上の段を仮置きすると、隙間が出来にくく、施工し易くなります。
 ※ビスを打つ際は、必ず下穴をあけてから行ってください。
 ※ビスは巾木で隠れる位置(壁面より21mm)に納まるように打ち込んでください。
 ※ビスを打つ際は、必ず下穴をあけてから行ってください。
 ※ビスの頭は踏板、蹴込板の面から出ない様に打ち込んでください。



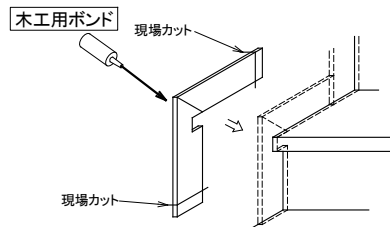
【6】L型巾木の取付け

直部分の固定例

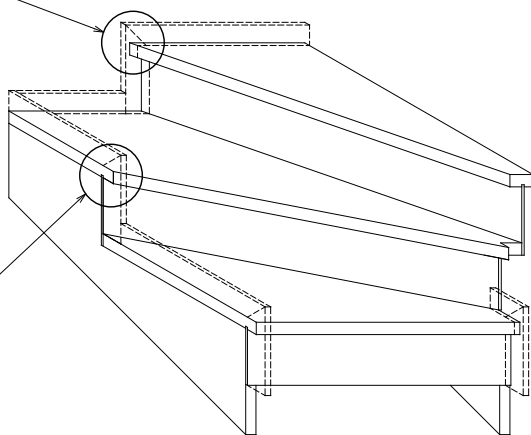
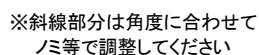
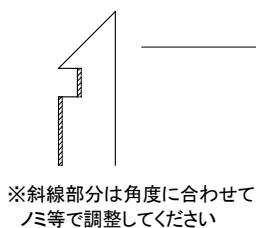
※直部の巾木はL型にジョイントされています。



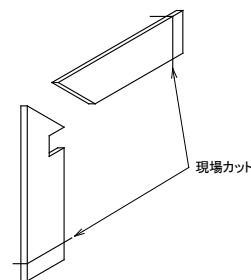
- ①L型巾木(ヨコ巾木、タテ巾木)を階段に合わせてカットしてください。
※各段の寸法が合わない事が有りますので、1段毎に合わせてカットしてください。
※L型巾木には、方向(L/R)があります。形状を確認し、取付けを行ってください。
- ②巾木の裏面に木工用ボンドを塗布し、フィニッシュネイル等で止めてください。
(取付け位置は固定例参照)



廻り部分の固定例

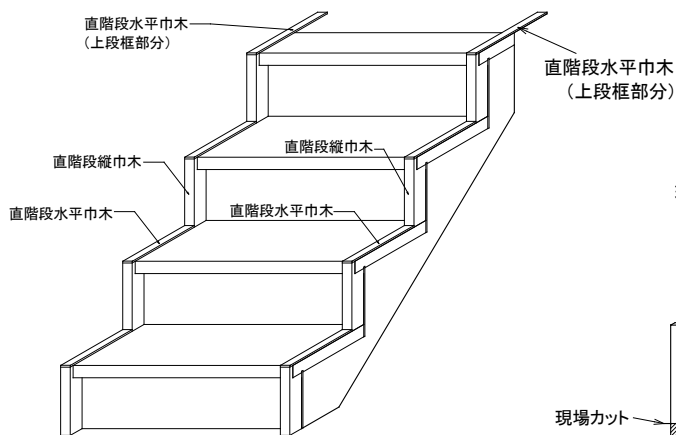


※廻り部の巾木は、タテ方向とヨコ方向の巾木のジョイントはされていません。
(図は右廻りを示す)

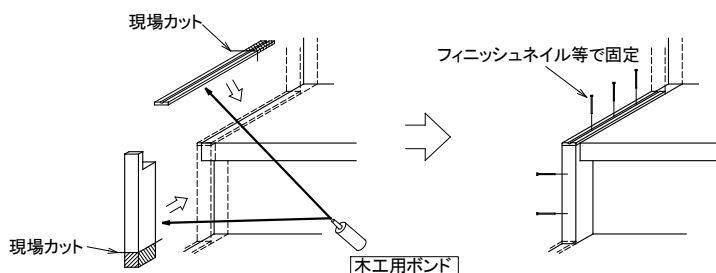


【7】フラット巾木の取付け

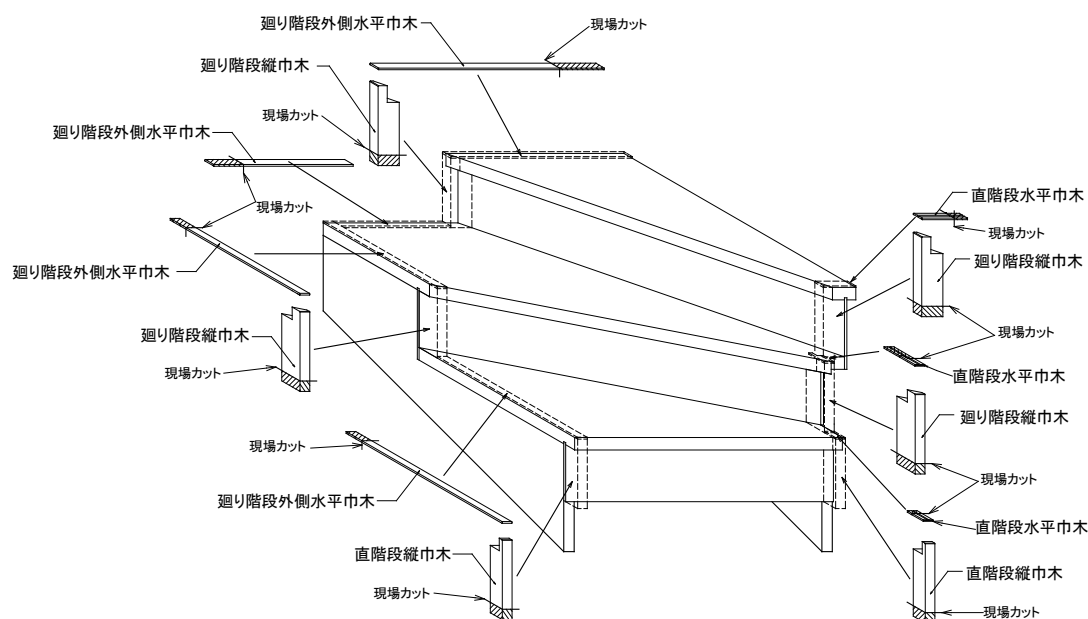
直部分の固定例



- ①水平巾木、縦巾木を階段に合わせてカットしてください。
※各段の寸法が合わない事が有りますので、1段毎に合わせてカットしてください。
- ②巾木の裏面に木工用ボンドを塗布し、フィニッシュネイル等で止めてください。
(取付け位置は固定例参照)



廻り部分の固定例



★階段取り付けの最後に

- ①階段取り付けの最後に、階段が正しく設置されているか、軋みや揺れが無いかご確認ください。
また、キズや塗装の欠けが無いか確認し、必要に応じて補修を行なってください。
- ②階段施工後はゴミや埃などを取り除き、化粧面の養生を行ってください。
※その際、養生テープは市販の養生テープをお使い下さい(塗装の剥れやキズの原因となります)。
注意:木質商品は基本的に水気を嫌います。水や洗剤でぬれたままにしておくとシミ、変色、カビの原因となる事がありますのでご注意ください。

○商品に関しましては、お近くの営業所または事務所までお問い合わせください。

- | | |
|-----------------|---|
| 東京営業所 〒164-0012 | 東京都中野区本町2-2-2 YSビル8F
TEL 03-6859-0700 FAX 03-6859-0702 |
| 中部営業所 〒505-0016 | 岐阜県美濃加茂市牧野1006番地
TEL 0574-24-7781 FAX 0574-28-6191 |
| 大阪営業所 〒579-8027 | 大阪府東大阪市東山町5-8 龍野ビル4F
TEL 072-988-5320 FAX 072-988-5321 |
| 九州営業所 〒812-0011 | 福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目27-25 第二岡部ビル6F B号室
TEL 092-260-9617 FAX 092-260-9618 |
| 東北事務所 〒980-0802 | 宮城県仙台市青葉区二日町13-18
ステーションプラザビル 707号室
TEL 022-217-6465 FAX 022-217-6466 |
| 浜松事務所 〒435-0038 | 静岡県浜松市南区三和町295-1 グリーンパーク101
TEL 053-411-0701 FAX 053-461-8901 |
| 長野事務所 〒390-0852 | 長野県松本市島立990-1
TEL 0263-47-8516 FAX 0263-47-8517 |